

(別紙の2)

自己評価及び外部評価票

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価(事業所記入)	外部評価(評価機関記入)	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	事業所内に社訓、理念を掲げ毎日朝礼にて職員が意思の統一を図れるよう、社訓の唱和を行っております。	認知症の方がいつまでも自分らしく、安定した生活を過ごして頂ける様に、明るく落ち着いた雰囲気があります。母体の会社の社訓は毎日唱和されています。入居者の方に、しっかり向き合いたいとの思いを、職員が実践出来る場になっています。	コロナ禍で、地域の方と交流が難しい中ですが、地域密着型グループホームの理念も、唱和されることを期待しております。
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	コロナ感染予防の観点から日常的な交流は現在では行えていませんが地域の回覧を活用しふれあい通信を毎月発信しております。	コロナ禍でそれまで出来ていた、お茶会、地域行事へ参加などは出来なくなりました。二子小の児童が雑巾や千羽鶴などを作って、メッセージ付きのプレゼントを頂く交流は続いています。毎月、地域の回覧板にふれあい通信を回して頂いています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地域の回覧板を活用し、グループホームの活動や日常生活を地域の皆様に発信しております。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、その意見をサービス向上に活かしている。	コロナ感染予防の観点から現在はアンケート形式での意見を集めご家族様、地域の代表の方からご意見を取り入れサービス向上につなげております。	コロナ禍で運営推進会議は、約2年間見合わせていました。昨年秋からアンケートで、ご家族、地域の代表からご意見を頂き、反映させています。書面開催にして、ふれあい通信もお送りしています。運営推進会議録で確認致しました。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。	営業所内で発生した事故等の報告はまめに行いご指導を頂きながら、併せて事業所の実情やケアについて担当者様へご相談もさせて頂いております。	運営推進会議のメンバーの、市高齢福祉課の担当者、こまめにやり取りをしており、ヒヤリハット報告、入居者の変化など、ケアに関しても相談しています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束については社内研修の実施、身体拘束禁止委員会を設置し2か月に1度の委員会実施を行っております。玄関の施錠についてはご家族様への安全、防犯面について説明を行い実施をしております。	身体拘束をしない為の、身体拘束禁止委員会を2か月に一度開催し、研修計画・研修内容は会議録で確認いたしました。幹線道路に面しているため、玄関の施錠について、ご家族に安全と防犯の両面で、説明と理解を頂き施錠しています。玄関前のベンチに座ったり、季節の花を植えたプランターを眺めたり、気持ちが和む支援をしています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	夜勤者に対する夜勤前面談や定期面談、虐待チェックリストの実施、アンガーマネジメントの研修等を受講させ防止に努めております。		

自己	外部	項目	自己評価(事業所記入)	外部評価(評価機関記入)	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	過去の実績等を通じ制度の理解や必要性を理解する機会を持つようになっています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約の締結時にはご家族様へ分かりやすく説明をするよう留意し解約の際にも十分な説明を行いお客様の不安や疑問に対し誠実な対応を行っています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	玄関前に意見箱を設置しています。又、訪問時や電話連絡の際にもご家族様からの意見や要望を聞く時間を設け、運営推進会議の資料の中にも意見書を同封し積極的な意見の聴取をしています。	コロナ禍でご家族様の訪問が制限されていた為、玄関の意見箱よりは、ご家族様との電話連絡の際に、ご意見やご要望を聞く機会を積極的に設けています。頂いた意見などは、運営推進会議資料にも同封し、運営に反映できる様に心掛けています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	月1回のミーティング時や朝礼時、又定期個人面談時などに職員からの意見を聴く時間を設け職員から出た提案については積極的に取り入れるよう取り組んでいます。	職員は勤務も定着して、経験が長い方も多く、ミーティング時や朝礼時に意見を聞ける体制になっています。提案については、やれることは取り入れる様になっています。定期的な個人面談や、チューター制度など、仕事へのモチベーションを引き出す仕組みがあります。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	面談を通し、職員のメンタルややりがいなどを確認し個々のスキルアップへの向上心を大切にしながら社内の支援制度等の提案をしています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	社内、外で実施されている研修には積極的に参加を促し勤務調整等の協力をしています。法定研修については実施計画を掲示し確実な実施を行っています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。	現在は新型コロナウイルス感染予防の観点から他事業所との交流や見学を実施することはありません。		

自己	外部	項目	自己評価(事業所記入)	外部評価(評価機関記入)	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	ご入居前にはご家族様の面談、ご本人との面談をそれぞれ1回行いご要望や不安を聞き取っております。又、入居後はご本人のお気持ちを最優先に考え寄り添うケアを行っております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	ご入居前に複数回、ご家族様とお話の機会を設けたり契約時にはご家族様の不安やお客様の要望等をしっかり受け、サービスに活かしております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	サービス導入時は殆どのお客様が不安や不穏になり支援方法も通常とは異なる事があります。お客様の現状をしっかりと見極め適切な対応を行っております。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	職員の統一した意識として「業務」という概念が捨てきれない職員も一部いるがお客様と同じ空間で同じ時間を過ごす中で、信頼関係の構築、雰囲気作りに日々努力を行っております。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	現在は新型コロナウイルス感染予防の観点からご家族様との面談に制限を掛けざるを得ない状況にありますが定期的な通信網を活用するなどご家族様がホームの状況を把握できるよう留意しております。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	現在は新型コロナウイルス感染予防の観点からご家族様との面談に制限を掛けざるを得ない状況にありますがご要望には出来る限り手段を考えお応えするよう努力しております。	コロナ禍で、ご家族や馴染みの人との面会に、制限を設けざるを得ず、窓越し面会や、電話での家族との会話など、手段を考えて要望に応えられる様に心掛けています。ポップアップカードを利用して文体を作る等、お手紙も工夫して家族へ出したり、またふれあい通信に写真をいっぱい載せて、毎月お送りしています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	お客様が集まる時間帯にはレクリエーションや集団体操を実施しお客様が孤立しない環境作りを行っております。又、新規のお客様には出来るだけ他のお客様との会話や交流の時間を多く取れるよう配慮をしております		

自己	外部	項目	自己評価(事業所記入)	外部評価(評価機関記入)	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	現在は新型コロナウイルス感染予防の観点から退去者様宅への訪問は自粛させて頂いておりますがご連絡等があった際には親身な相談や支援を心がけております。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	月1回のお客様カンファレンスを実施、日々のお客様の変化や状態にいち早く気が付き対応できるようにしております。	月一回のカンファレンスでは、短期目標がその方に合っているか、何を望んでいるかを、得ている情報を照らし合わせて対応する様にしています。気づきの良い事例を、タブレットで記録し、職員が共有できる様に、学び合っています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	普段の生活の中で大切にされてきたことやこだわりの部分等、しっかり聞き取りを行い入居前より会議や回覧で職員との情報共有を行っております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	普段の生活の中で大切にされてきたことやこだわりの部分等、しっかり聞き取りを行い入居前より会議や回覧で職員との情報共有を行っております。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	集団援助にならないことを第一に考えお一人お一人の必要なケアを実施できるよう計画書の作成を行っております。	アセスメントやご家族からお聞きして、個性の把握や生活歴を知って、出来ることを大切にしています。その方のペースで、自分らしくを第一に、その方に必要なケアを、チームでしっかり向き合える様な介護計画へと、3か月に1回の見直しをしています。	介護計画・モニタリングの書類のファイルが、忙しい事は理解しておりますが、整理の不備で見づらくなっておりました。職員の誰が見ても、書類が分かり易く活用しやすい整理とファイリングを期待します。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	介護記録へ細かな様子や情報を記載し職員が共有できるようにしております。変化や必要なケアの追加についてはカンファレンス時に多くの意見を出しあい計画書へ活かせるようにしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	お客様、ご家族様のご要望には出来る限りお応えできるよう対応しサービス以外の対応にも社内確認を行いながら柔軟に対応を行っております。		

自己	外部	項目	自己評価(事業所記入)	外部評価(評価機関記入)	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	地域にある警察、消防署又、地区の民生委員の方のお力をお借りしながら連携を図っております。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	ご本人、ご家族様のご要望するかかりつけ医を優先し特に希望がない場合はホームのかかりつけ医と定期的に連携を図り、適切な医療が定期、緊急時に受けられる体制を作っています。	ご本人・ご家族に選んで頂き、今迄のかかりつけ医の場合、ご家族が付き添えない時は付き添っています。グループホームのかかりつけ医、また歯科・眼科などは直ぐ近くにあり、受診時に付き添っています。本社に医療連携室があり管理者に連絡が行き、夜間は隣接する訪看ステーションへ連絡、また緊急時は相澤病院と連携しています。医療連携関連書類で確認しました	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	週1回の訪問看護師の訪問時にはお客様の普段の体調の様子や認知症状について報告、相談をしています。又、状態により適切な受診ができるよう看護師より指示を受け対応ができております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院が必要になった際は必ず同行をし、普段のお客様の様子や服薬情報等、必要な情報を医療機関に提供しています。又、入院後の様子についてはご家族様と適宜連絡を取り様子の把握に努めております。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	契約時や状態の変化に合わせて終末期の在り方やご家族様、ご本人様のご希望に沿えるよう職員間で共有をしております。	入居時に重要事項の説明をし、看取りの体制も出て、ご意向を伺っています。緊急時のフローチャートも整って、状態の変化に合わせて、ご家族やご本人の希望に沿える様に対応しています。ご家族も職員も、やれることがあったとの後悔をしないように、職員間で共有し、チームで支援しています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	緊急時のフローについては定期的に研修を実施し、いざという時に慌てず対応が出来るよう理解を深めております。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	災害時のフローについては定期的に研修を実施し、いざという時に慌てず対応が出来るよう理解を深めております。又、職員間の緊急連絡網のテストも定期に実施しております。	避難訓練は職員間の緊急時携帯メールや、事前に消防署に連絡し、疑似通報テストで全員出来るように訓練しています。水害想定1階からの垂直避難、逆に2階からの毛布搬送も実施しました。備蓄は食料と水は常に準備しています。	災害対策に万全は無いのですが、夜間想定訓練や、冬の避難では寒さ対策が必要で、頭と肩を守るクッション付の頭巾等の備えも期待されます。

自己	外部	項目	自己評価(事業所記入)	外部評価(評価機関記入)	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	お客様の人格をしっかり理解したうえで適切な声かけを行う様、留意している。又、社内研修でも人権の尊厳やプライバシーについて学ぶ機会を設けています。	プライバシーの保護と尊重など、法人内の年間計画に基づいて研修を行って、実践でのやり方を学んでいます。一人ひとりの違いを見極めて、特にトイレ誘導の声掛けなども、その方に合った対応をしています。プライバシーの配慮など研修記録で確認致しました。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	お客様のご要望にはしっかり耳を傾け、決して否定することのないよう留意しております。お客様が何でも言える環境・雰囲気作りを努めております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	職員側の時間軸の動きではなくお客様の生活の時間軸を優先に考えたタイムスケジュールを実施するよう取り組んでおります。又個々の生活スタイルも重視しております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	意欲が低下し身だしなみを気にしなくなったお客様への関わりも大切につつ、その方がありがたい姿をご支援できるよう取り組んでおります。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事の支度、後片付けもお客様と一緒に行う様にしております。又、季節にちなんだ食事メニューを提供したりイベント食で食事の他にも雰囲気作りを大切に、食事の時間が楽しいと思って頂けるようにしています。	法人内で、年末年始・季節の行事・イベントにちなんだメニューや食材は、業者に委託しています。お誕生日など、食事を楽しむメニューや、場の雰囲気を工夫しております。食事の支度や盛り付け、後片付け・洗い物など、その日の様子を見て一緒にしています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	摂取量の記録等を行い栄養面でのバランスや体調の管理等は細かく実施し、好き嫌いの把握も行いながら偏りのない食事の提供を行っております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	介助が必要なお客様へは入れ歯の洗浄やうがいの促し等を行い、基本は毎食後の口腔ケアを実施しております。		

自己	外部	項目	自己評価(事業所記入)	外部評価(評価機関記入)	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている。	時間での誘導になりますが個々のトイレのタイミング等を把握し支援を行っております。	個々の方の、排泄リズムのタイミングを見ながら支援をしております。バランスの良い食事、水分を適宜とり、朝食後のDVDの体操で、腹圧を掛ける工夫もして、排泄表での健康チェックもしています。排泄表も確認致しました。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	一日、1回発酵食品(ヨーグルト)を召し上がって頂き一日数回、手足を動かす10分～20分程度の運動を行い便秘予防に取り組んでいます。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている。	お客様の希望や気分を尊重し「入りたい」と思ったときに入浴が実施できるよう取り組んでいます。	1日2名、週2回の入浴を、個々の皆様の気持ち・気分を大切に支援しています。入浴を楽しめる様に、温度や入浴剤に配慮し、ゆず湯も楽しんでいます。拒否がある方のお誘いに、お気に入りの着替えを用意するなど、工夫をしております。	脱衣所の壁側には、必要な各種の用具・家電がぎっしりと置かれております。視覚的にゆったり着脱できる様な、雰囲気づくりを期待しております。
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	個々の生活習慣が異なるのでその方に合わせた休息方法を重視しケアを行っている。又、うまく休息が出来ないお客様へは温かい飲み物の提供や話し相手になり心に落ち着きを取り戻して頂くよう取り組んでいます。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	服薬の情報は職員間で周知しております。服薬による副作用等の理解も出来ており又、効果についても観察を行い医療側への情報提供もこまめに行っております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	個々に得意とすることの把握を行い、できない事と職員が決めつけないようにしております。リハビリも兼ねた家事訓練(洗濯たみや包装等)を実施しています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	現在は新型コロナウイルス感染予防の観点から外出の自粛をしております。施設周りの散歩や屋外の空気を吸う為、デッキに出るなど気分転換を図っております。	コロナ禍の中、外出支援が以前の様にできなくなりました。玄関前のベンチでひなたぼっこや、デッキや洗濯干し場に出たり、プランターへお花を植えるなど楽しんで頂く様にしています。施設の周りを、休憩をはさみながら、ゆっくり歩いて、犬の散歩の方や小学生と会って挨拶をするなど、出来るだけの気分転換を図っております。今年是非、お花見に連れて行ってあげたいとの事です。	

自己	外部	項目	自己評価(事業所記入)	外部評価(評価機関記入)	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	お客様が実際にお金をお持ち頂いているケースはありませんがお客様からの要望に対してはご家族様に確認を都度行いながら立替金として希望する物の購入を行っております。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	契約時にお客様・ご家族様間でのお電話や手紙のやり取りについてご説明をさせて頂き積極的にやり取りが出来るよう環境を整えております。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	共有スペースの環境整備(掃除等)には十分に留意し不快感を感じさせないよう整えております。ホール内ではお客様が手を加えて頂いた季節にあった作品を掲示し、季節の移り変わりを感じる事ができるよう取り組んでおります。	共有空間の窓からは戸外が見え、お花の鉢が飾られ、明るい雰囲気、そこに居る皆様も和んでゆったり過ごされています。皆様が手作りされた、季節感のある大きな満開の桜の木の壁画が壁に飾られ、各々が気に入りの席で、DVDを観るなど自由に過ごされていました。清掃は専任の方がされるので、気持ちの良いスペースになっています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	共有スペースに二つのくつろぎスペースを設け好きな場所、位置で思い思いの好きなことをして頂ける時間、場所作りを行っております。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	お客様の好きな物、こだわりの物等出来るだけお使い頂けるよう心掛け、事故リスクがあるものに関してはご本人やご家族にしっかりと説明を行い、使用の中止等の対応を行っております。	居室は、備え付けのクローゼットですっきり収納が出来て、どの部屋も窓があり、戸外が見えます。ご家族とご本人が相談して、馴染んだ物を配置し、作品や写真も飾られて、その方に合ったレイアウトが出来ています。認知度に対応し、個々に合った使い方や、動線に物を置かない配慮もされていました。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	お客様が使用する物や移動する動線の危険リスクには十分に配慮を行い、お客様が出来ることは積極的に行って頂くようにしております。		